

♥ ながえの里だより

【基本理念】 私たちは、すべての人に等しく 仁愛の精神を持って接し、心の通う医療の実践に努めます。

【基本方針】 責任：生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する

安全：すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める

協調：チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める

奉仕：すべての患者さまを等しく仁愛の精神を持って接し医療を通じて社会に奉仕する

庄原同仁病院のスタッフが目指していること

「おいしかったよ！」の一声に

栄養課 酒井武子

庄原同仁病院も50床のベッド数から始まり、職員も少人数のスタートから創立20周年を迎えました。また、仕事内容も多種多様に变化して来たのと、自然環境の変化に伴い、食中毒ウイルスも多種発見され、私達も食中毒を出さない為により一層の注意をし、対応を迫られる様になりました。村尾院長の方針に賛同し、病院側からもスタッフに対して研修の場を与えてもらい、私達も仕事に対する考え方、姿勢も良い方向へと変化して来ました。

当病院では、誕生日を病院で迎えられる患者様に長年頑張って来られた事に感謝を込めて、患者様の要望に合せた祝い膳を作りお出ししています。心を込めた祝い膳を喜んで食べて頂ける事を本当に感謝しています。病院食も冷たい物は冷たく、温かい物は温かく温冷配膳車を使用して家庭の食事に近い食事をお出ししています。患者様の病状に合せながらカロリーを考え一口でも美味しく食べて頂けるよう個人対応させて頂いています。また春の花見や、花火大会、運動会、遠足、クリスマス等々いろいろな行事の折にお弁当を作って患者様と一緒に楽しんでいます。

栄養課職員一同が直接患者様の食事場面へ接する機会は少ないのですが、患者様や家族の皆様から「おいしかったよ！」の声を聞かせて頂ける様、試行錯誤しながら栄養課一同力を合わせて頑張ります。



生活感のある入院環境を

ケアワーカー 澤田かず子



現在、庄原同仁病院では25の委員会を立ち上げ、いろいろな方面から考えて、患者様へより良いケアの提供が出来る様に努めています。入院生活が「自分の家で暮らしているのかな？」と錯覚される程、快適な場所である様に全委員が願っています。

私は、ケアワーカーとして直接、患者様と接する職業です。「お早よう」と目覚めてから、「お休みなさい。」とカーテンを閉めるまで、常に一緒に過ごしています。患者様の機嫌の良し悪しや、体調の快・不調、今何を希望されているのか・・・とか小さな事にも気配りをして、安心して暮らして頂ける様に頑張っています。患者様の状態は様々ですが、長い入院生活での救いは、やはりスタッフ

の明るい笑顔と優しい言葉かけだと思います。「庄原同仁病院へ行ったら、まるで自分の家にいる様に楽しくて安心しとられるよ。」の言葉が聞かれることを楽しみにお世話をさせていただきます。そして、私達全員は、患者様に自分の親や、家族を世話している様な気持ちで接してゆく事を誓っています。

そばうちボランティア

経理 佐倉和子



9月26日に、西城町在住の山脇克文さんが、そば打ちのボランティアに来てくださいました。山脇さんは、工務店経営の傍ら自宅でそばを植え、水や薬味の材料にも全てこだわりを持っておられるそうです。当日は、ざるそばと温かいそばを2種類出してくださいました。そば打ちを三回していただき、山脇さんの打たれたそばは、見た目が細く食べるとしっかりこしがきいていて、患者様はおかわりされたり、普段、食の細かい人も食べられたそうです。「昔は家でそばを打っていた」と懐かしがられ、長時間、熱心に見ておられた患者様もおられました。そばうちは難しいとよく聞きますが、山脇さんは他の施設にもボランティアに行かれているらしく、患者様だけでなく職員も楽しませて頂いた一日でした。



秋の運動会

アクティビティ委員 戸村恵子

秋の運動会が10月25日、万国旗が美しく飾りつけられたレクリエーション室にて行われました。たくさんの患者様や職員の皆様が参加くださ



紅白対抗玉投げ競争 結果は？



り、それぞれ紅白に分かれ競技を行いました。元気良くタオル体操を行った後、おじゃみ投げ、応援合戦、積み木崩しゲームをしました。赤白帽をかぶられて童心にもどられたのでしょうか、みなさん大変はしゃいでおられました。各競技では赤白どちらが勝っても惜しめない拍手や、楽しそうな笑い声がたくさん起きました。また職員による風船割りでは職員の方々も必死で風船と格闘し、大賑わいで患者様の笑いを誘っていました。私は今回、赤組の司会者をする事となり、とても緊張しながらの参加となりましたが、その緊張よりも皆様の楽しそうな笑顔が見れたことをとても嬉しく感じました。

インフルエンザ

薬剤師 黒長隆子

今年もインフルエンザが流行する季節が近づいてきた。インフルエンザは感染力が強く、施設内や地域社会における集団発生、

地域的流行を生ずる。特に高齢者、基礎疾患（糖尿病、慢性呼吸器病など）を持つ人が感染すると、肺炎、気管支炎など合併症を起こしたり、基礎疾患の悪化を招いたりして生命の危険がある。

インフルエンザウイルス（写真）に感染すると、1～2日の潜伏期間を経て、39～40℃の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状があらわれる。発症は急激で、これに少し遅れて鼻汁、咽頭痛、咳などの上気道炎症症状が出現し、約1週間で軽快する。確定診断は咽頭または鼻腔ぬぐい液を用いた迅速診断キットを使用する。

《予防》

① 手洗い・・・感染性飛沫の付着を防ぐ

うがいの励行、マスクの着用、人ごみを避ける（感染経路の遮断となる）

② ワクチン接種

効果が現れるまで約2週間程度かかり、約5ヶ月間その効果持続する

《治療》

① 抗ウイルス薬の投与

オセルタミビル（内服）、ザナミビル（吸入）、アマンタジン（内服、A型のみ）

② 輸液、水分摂取⇒発熱によって脱水症状が起きやすいため

③ 対症療法

④ 抗菌剤の投与（合併する細菌感染がある場合）



インフルエンザウイルス
の電子顕微鏡像

川北小学校栗拾い

西村美智子



10月18日、川北小学校の

全校生徒さん29人と先生4人が来院されました。午後のレクリエーションに参加された患者様に、秋の歌の合唱やかわいいダンスを披露してくださいました。元気いっぱいの歌声やダンスに患者様も若いパワーをもらったと大変喜ばれていました。この後、生徒さんたちは、病院の敷地内の栗林で、栗拾いをし、秋を楽しんで帰られました。



新聞委員のつぶやき ～窓から見る景色～ 伊達信介



1病棟から患者さんと共にリハビリ室に行く廊下の窓から外の景色を見て、会話がはずむことが多くあります。「花壇の花がきれいじゃね。私はここから外の景色を見るのが好きなんよ。」「あの花は・・・だね」と車椅子での走行を介助して廊下を通る時、何人もの患者さんと、こうした会話をします。

春は数多くの桜が咲き、夏はひまわりをはじめとした花々が、秋にはコスモス、キンモクセイなど、冬は雪の中、山茶花が漂として咲き、四季を通して目を楽ませてください。このような環境が維持できるのは、常日頃から花壇や中庭の清掃、管理をしてくれている環境管理の人達の努力があってこそ、その

ことを忘れてはならないと思います。病院で、多くの花や木々を見ることが出来る環境に、患者さんも周りの人達も心癒されていると私は感じています。



花火大会 アクティビティ委員 笹田博子



8月22日、雷がゴロゴロ鳴って今にも雨が降りそうな中、予定を少し変更しながらではありましたが、毎年恒例の花火大会を行ないました。今年は、広島銀行庄原支店の職員さんが3名来られ、「川の流れるように」などの歌を数曲披露していただきました。その後でカキ氷や花火を楽しみました。「カキ氷が冷たくておいしかった」「歌がとても上手だった」など、感想があり、おおいに喜ばれていました。



ボランティア紹介 理学療法科 岩見典子

7月28日「松若寿恵香会」の皆さんが舞踊



を披露してくだされました。衣装、踊り共に本格的なもので、患者様は目を丸くしながら感動しておられました。患者様の中には、昔見たお芝居を思い出し掛け声をかけたり、涙を流しながら拍手をしておられました。私たちが、今まで見たことがない様な笑顔をされ、本当に楽しい時を過ごされました。



「松若寿恵香会」の皆さん、またよろしくお願いします。

新職員紹介



初めまして、9月11日より2病棟で働くことになりました、ケアワーカーの見越恵美鹿（みこし えみか）です。

私は最近、家で子犬を飼うことになり、子犬を連れて孫と初めて散歩をしました。子犬と散歩している時の孫の笑顔を見た時、私も患者様に笑顔で接することを心がけたいと思いました。

私の今の目標は「患者様に笑顔で接する」です。よろしくお願いします。

患者様作品

左作品：カラービニールを上手に使い赤とんぼを作ってみました

右作品：布、毛糸を使いお月見を再現しました



編集後記

秋号を発刊するにあたり日頃から皆様のご協力を頂き感謝しております。今年は病院創立20周年という記念すべき年であり、職員一同なお一層レベルアップした素晴らしい病院になるよう努力して参ります。そして新聞も内容の濃いものを皆様にお届けできるよう努めたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願い致します。



広報新聞委員 梶川美保子